

経産省前テントひろばニュース

テント強制撤去から3147日原発再稼働糾弾！

第311号

編集・発行

テントひろば運営委員会

【講演会のご案内】

核発電の根本問題
～山本義隆著「核燃料サイクルという迷宮」～

2025年5月7日(水) 14時～16時

会場 衆議院第一議員会館大会議室

私たち、経産省前テントひろば（有志）は反原発の立場で、山本義隆さんの思考に長く接して来ました。

一昨年（2023）の8月、東京電力は福島第一原発にはもう置いておく場所がないからといって、トリチウムが除去できずに溜まるばかりの汚染水を海洋へ投棄しはじめました。これまでに11回、それぞれ7,800トンの汚染水、合計で8万トン以上が海洋放出されています。その処理方法に関しては、到底十分に検討して決められたとは言えないばかりか、最も安易な方法が取られたのでしょ

う。この汚染水海洋放出は、「もんじゅ」、「常陽」の後で青森県六ヶ所村に建設中の、再処理施設（核燃料サイクル工場）の運転に先立つ実績作りだというのが、大方の見解でした。そこで、昨年は、再処理施設の運転開始が大いに見込まれていたのですが、27回目、先送りされて、今では2026年度末に完成予定となっています。

☆

山本義隆著『核燃料サイクルという迷宮』には、「核ナショナリズムがもたらしたもの」という副題が付いています。これは、敗戦によって見失われていたナショナリズム、時代錯誤の大国主義の復権のための核依存として話されています。かつて中曽根首相がレーガン米大統領にすり寄って「再処理の権利」を認めさせ、核兵器不拡散条約加盟国のなかで唯一、核兵器保有国以外で使用済み核燃料の再処理ができる国になったことを指します。つまり、ウラン濃縮とプルトニウム生産という二つの技術を持ち、他国に干渉されずに自国の核武装を進める能力を持っているとされました。

今、日本には使用済み核燃料が六ヶ所村に2,900トン、各地の原発に合計2万トン存在します。また、英・仏の再処理施設で委託生産されたプルトニウムが48トンあります。長崎に投下されたプルトニウム爆弾の六千個分です。「原子カムラ」は、「安全神話」をふりまきながら原子力発電を遮二無二進めたことによって福島事故という破局をもたらした、今度はもう一つの「増殖神話」に依拠する核燃料サイクルの開発に

よって、再度の破局をもたらしかねない状態に陥っています。

「増殖神話」という虚構に依拠して、核開発の目的を核燃料サイクルに設定したことによって、核発電後に残される核のゴミの処分という重要問題が先送りされることになりました。「六ヶ所村の再処理施設はずっと試験中でいいんだ。『あそこが壊れた、そこが壊れた、今直しています』でいい。これはモラトリアム（債務履行の猶予）なんだ。核燃料サイクルという看板を失ったとたんに使用済み核燃料の置き場、つまり最終処分場の問題が浮上し、反原発運動に火がつく」と、ある政治家の言い草を紹介されています。当日は、その神話・虚構の裏に存する核発電の根本問題；核のゴミについて、有限な人間の手に負えない技術、有限な地球上で使ってはならない技術について等、このあたりのことをお話いただきます。

経産省前テントひろば（有志）

5月7日(水) 山本義隆 講演会

核発電の根本問題 ～「核燃料サイクルという迷宮」から～

会場 衆議院第一議員会館大会議室

進行 1 開 会 14時00分～

2 講 演 山本 義隆さん 14時30分～

3 質 疑 応 答 15時30分～

4 閉 会

16時終了予定

主催：経産省前テントひろば

山本 義隆さんの紹介

東京大学理学部物理学科卒業、同博士課程中退

科学史家・教育者、駿台予備学校勤務

元東大全共闘代表、10・8 山崎博昭プロジェクト発起人

著 書：「福島原発事故をめぐって」（みすず書房、2011.8）

「原子・原子核・原子力」（岩波書店、2015.3）

「私の1960年代」（金曜日、2015.10）

「リニア中央新幹線をめぐって」（みすず書房、2021.4）

「核燃料サイクルという迷宮」（みすず書房、2024.5）

その他

被害者を踏みにじる上告棄却、
次の原発事故を準備する最高裁を許さない！

福島原発刑事訴訟支援団
最高裁の決定は、双葉病院から避難の途中で亡くなった被害者とその遺族をはじめ、万余の人々の生活と人生を壊した、日本最大の公害事件である福島第一原発事故の全ての被害者と被災者を踏みにじるものです。

さらに、人災事故を引き起こし、国民の生命と財産を窮地に陥れ、甚大な被害をもたらしながら、原子力発電事業者は何らの責任も問われず免責されるという法的前例をつくり、むしろ、新たな原発事故を準備するものであり、決して許されません。

支援団では以下の行動を計画しています。みなさん、一緒に声を上げてください。

【最高裁行動・東京集会】
日時:4 月 30 日（水）
11:00 最高裁前 抗議行動 開始（最高裁正門前）
千代田区隼町 4-2
11:30 終了
【集会】会場:衆議院第 1 議員会館 大会議室
（千代田区永田町 2 丁目 2-1）
12:30 開場・通行証配布
13:00 開会
●ゲストトーク 添田孝史さん・木野龍逸さん（ジャーナリスト）
●ゲストスピーチ 後藤秀典さん（ジャーナリスト）・神田香織さん（講師）
●支援団リリーススピーチ
●弁護団報告
15:30 閉会
参加費:無料

【福島県（郡山）集会】
日時:5 月 11 日（日） 13:30～15:30
会場:郡山市音楽・文化交流館（ミューカルがくと館）
中ホール 郡山市開成 1-1-1
●ゲストスピーチ 神田香織さん（講師）
●弁護団報告 大河陽子弁護士・北村弁護士
●リリーススピーチ
ほか
参加費:無料

たんぽぽ舎 36 周年の集い

5 月 31 日（土）、私たちテントひろばとともに脱原発運動の中心を担い続けているたんぽぽ舎が 36 周年の集いを開催することになりました。この日、第一部では総会、第二部では記念講演が開催されます。奮ってご参加ください。

会 場：東京学院 3 階会議室
千代田区神田三崎町 3-6-15 JR 水道橋駅下車徒歩 2 分

第一部 たんぽぽ舎第 37 回総会
時間：開場 13 時 15 分
13 時半～14 時半

第二部 講演会
I；「珠洲原発阻止 日本を救った人たち」
講師：青木美希さん
II；柏崎刈羽原発に迫る危機
講師：山崎久隆さん
時間：14：45～16：40
資料代：900 円

収・支報告（2024 年度・下半期 10～3 月）

経産省前テントひろば・会計担当 Y・2025 年 4 月 10 日
今期は S さんからの大口カンパもあって、下記のとおり前期に続く黒字に転換しました。皆様のお力添えいただいたおかげです。ありがとうございます。

収入の部			
上段は 2024 年度上半期、下段太字が今期			
カンパ振込	カンパ箱・集計	受取利息	収入合計
¥ 323,500	¥ 880,000	¥ 2	¥ 1,203,502
¥ 219,000	¥ 1,432,000	¥45	¥1,651,045

「カンパ箱・集計」金額は千円単位で記載しています
支出の部 上段は 2024 年度上半期、下段太字が今期

活動費	広報通信費	事務費 事務所分担金等	法対費	支出合計
¥ 69,223	¥ 80,548	¥ 908,201	¥0	¥ 1,057,972
¥ 65,175	¥ 43,924	¥ 901,932	¥0	¥1,011,031

会計監査の結果、収支とも間違いなく処理されていました。
乾喜美子（会計監査）

編集後記
12 日（土）に入院されている三上氏を見舞う。15 日（火）の午前には退院されとのこと、暫くは自宅で静養するそうです。
また、収支報告にもある通り、経産省前での活動継続に重要な資金カンパは、少しずつ皆さんの協力で集まっています。
引き続きよろしく願いいたします。

集会・行動予定
◆4 月 16 日（水） 12 時～13 時
原子力規制委員会前抗議行動（毎週水曜）
◆4 月 18 日（金） 17 時～18 時
経産省前抗議集会（毎週金曜）
主催：経産省前テントひろば 経産省正門前
◎ 経産省前の座り込み行動は、平日:12 時～16 時（月～木）、13～17 時（金）、土・日・休日:12 時～15 時◎
◆同 日 原発いらない金曜行動（首相官邸前）
18 時半～19 時 45 分
主催：原発いらない金曜行動・実行委員会
◆4 月 19 日（土） 総がかり 19 日行動
14 時～15 時
◆4 月 27 日（日） 12 時～15 時
青空川柳句会 経産省前テントひろば
◆4 月 30 日（水） 14 時～15 時半
日本祈禱団 47 士による経産省前祈禱会

≪経産省前テントひろば≫
住 所:〒105-0003 港区西新橋 1-21-8 新虎ビル 2F
・電 話：070-6473-1947
・郵便振替口座＝00160-3-267170
・口座名義＝経済産業省前テントひろば
WEB：<http://tentohiroba.tumblr.com/>
Mail address：tentohiroba@gmail.com